

京都府農林水産技術センター生物資源研究センター
令和2年度成績報告会開催要領

1 目的

京都府農林水産技術センター生物資源研究センターは、京都府農業の発展を担う先端の研究拠点として、京のブランド産品などの新品種育成や微生物利用による環境にやさしい農業技術の開発に取り組んでいる。

本年度の成績報告会は、新型コロナウイルスの感染拡大にともない、京都府に緊急事態宣言が発出されていることから、オンライン開催とし、当センターで今年度取り組んだ、京都オリジナルの酒米新品種、土の微生物を用いた防除技術、キュウリの新型ウイルス病、昆虫による植物改変技術の研究などを、当センター研究員が報告する。

2 開催日時

令和3年3月16日（火）13:30～16:30

3 オンライン開催（Zoomによるオンライン配信）

視聴希望者を募集します（2月17日～3月12日）。当センターの「生物資源研究センター成績報告会」ウェブサイト（<https://www.pref.kyoto.jp/shigenken/index.html>）に申し込みフォーム（メール又はMicrosoft form等）を掲載しますので、必要事項を入力の上、お申込みください。

4 主催

京都府（農林水産技術センター生物資源研究センター）

5 内容

(1) 開会あいさつ

(2) 報告

① 「宇治田原町の露地栽培キュウリにおけるアブラムシ類媒介性4種ウイルスの発生実態」

応用研究部 技師 門馬悠介^{もんまゆうすけ}

② 「黒ダイズの黒根腐病に対する土壌微生物による発病抑制効果」

応用研究部 主任研究員 徳丸晋虫^{とくまるすすむ}

③ 「花菜根こぶ病の精度の高い診断技術に基づく総合防除技術の開発」

応用研究部 主任研究員 北澤勝好^{きたざわかつよし}

④ 「収穫可能な期間が長くウイルス抵抗性を持つ8月獲り丹波黒大豆系エダマメを育成中」

応用研究部 技師 内藤一平^{ないとういつぺい}

⑤ 「虫こぶで起こるソース器官からシンク器官への転換」

基礎研究部 参事 武田征士^{たけだせいじ}

（併任 京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 准教授）

⑥ 「酒造好適米「祝」に代わる京都府オリジナル酒米新品種の育成」

応用研究部 主任研究員 静川幸明^{しずかわよしあき}

⑦ 「新しい紫、赤色の小カブ品種を育成中」

応用研究部 主任研究員 伊藤寿美子^{いとうすみこ}

⑧ 「赤い熟果生産に適した伏見とうがらし新品種の育成—果型、収量性及び食味の評価—」

応用研究部 副主査 鴨志田徹也^{かもしだてつや}

(3) 閉会あいさつ